

百合便り

校長だより5月号



百合の花咲く丘 (PTA活動)

始業より、早いものでひと月が過ぎました。校舎を周ると、黒板に向かい顔を上げ、1年生は高校の授業に、2年生は一段階上の学習に、3年生は受験を視野に入れ、心新たに学ぼうとしている様子が伺えます。実は頭が机についてしまっている生徒も数人……。新たな生活にも慣れ、表情も和らいできたと感じますが、無意識に溜まっている疲れもあるでしょう。ご家庭でも子供たちの話を聞いてあげてください。

さて、今年度より校内実力テストを「実力診断/判定テスト」から「スタディーサポート」に変更しました。これは学力と学習状況を診断するものです。学力判定に加え、家庭学習の状況を分析し、学習計画を立て改善するためのものです。職員も研修で結果分析し、面談で活用予定です。5月中に判定が返却されますのでご家庭でもご覧ください。

さて、話は年度初めに戻りますが、今年目標として、始業式に2つのことを話しました。一つは「何をできるようにするのか」そのために「何を学ぶのか」「どう学ぶのか」をキーワードにして、目標と手立てを自問自答すること。もうひとつは言葉にして伝え合うことの大切さと、言語化することで思考力・判断力・表現力が磨かれ、知恵となるということです。生徒にはその場で「渦巻き書き方」を説明してもらいました。ぜひご家庭でも「自問自答と話し、伝える」にお付き合いいただきたいと思います。